

「エコドライブシンポジウム ～地球と走ろう環境にやさしいエコドライブで～」 開催のご報告

エコドライブ普及推進協議会では、12月14日に東京ビッグサイトで「エコドライブシンポジウム～地球と走ろう環境にやさしいエコドライブで～」を開催いたしました。

基調講演として、国土交通省より国内でのエコドライブに向けた取組・進捗状況についての講演を頂き、続いて実際にエコドライブに取り組んでいる運輸事業者の生の声や、地域のエコドライブ普及に積極的に取り組んでいる自治体の活動、エコドライブを支援するための管理システムの導入助成制度（EMS事業）、エコドライブを取り入れ環境への配慮をした経営を認証する制度（グリーン経営認証制度）、更には、エコドライブ講習を推進している地方のNPO団体の取組や、エコドライブを支援するための自動車搭載機器の開発状況についての発表をして頂きました。

当日は、200人を超える方々に来場頂き、多くの皆さんから好評を頂くことができました。ご協力・ご参加頂いた方々に厚く御礼申し上げます。

（1）開催状況

- 主催：エコドライブ普及推進協議会（<http://www.ecodrive.jp/>）
- 開催日時：平成19年12月14日（金） 13：30～16：10
- 開催場所：東京ビッグサイト会議棟 レセプションホールB
- 来場者：約200人

（2）プログラム

- ①開会の挨拶
- ②基調講演

国土交通省 総合政策局 環境政策課 課長 桑田 俊一氏（代理：専門官 平川 貴光氏）
「エコドライブの推進状況について」

③エコドライブの実践事例発表

- 1) 西多摩運送株式会社 経営計画推進部 品質管理部 部長 加来淳 氏
「西多摩運送のエコドライブの取組（エコ安全ドライブ）」
- 2) あそあそ自然学校 定村誠 氏
「エコドライブ 私たちにできる初めの一步
～あそあそ自然学校のエコドライブへの取組について～」
- 3) 神奈川県 環境農政部 大気水質課 交通環境指導班 保坂千余子 氏
「神奈川県のエコドライブ推進策」

④エコドライブ推進団体の取組

- 4) 財団法人運輸低公害車普及機構 調査研究部 部長 高田寛 氏
「(財) 運輸低公害車普及機構におけるEMS普及促進事業の概要と成果について」
- 5) 社団法人日本自動車工業会 温暖化防止製品分科会 青木勘水 氏
「(社) 自動車工業会のエコドライブの取組」
- 6) 交通エコロジー・モビリティ財団 交通環境対策部交通環境企画課 課長 松田 章
「エコドライブ講習の認定とグリーン経営認証制度について」

(3) シンポジウムの様子



開会の挨拶



来賓挨拶



発表の様子



(4) 発表の概要

※以下、文責はシンポジウム事務局にあります。速報のため事後修正の可能性があること
ご承知おきください。

【基調講演（国土交通省）】

わが国のエコドライブの推進状況について、国土交通省の平川専門官より発表して頂きました。最初に、我が国の運輸部門のCO₂排出状況について説明があり、続いて、運輸部門における地球温暖化対策についての紹介がありました。その地球温暖化対策の1つとして、国土交通省を含む関係四省庁で作るエコドライブ普及連絡会では、「エコドライブ普及・推進アクションプラン」を策定しエコドライブを推進しているとのことです。具体的には、トラックや乗用車を対象としたエコドライブ講習会、レンタカー利用者にエコドライブを実施してもらう「エコRUNキャンペーン」などを、エコドライブ普及推進協議会の構成団体をはじめとする各種団体の協力により、実施していることが紹介されました。また、今後は、乗用車や自家用貨物車を利用する一般ドライバーへのエコドライブ普及を図っていく方針について説明して頂きました。

【西多摩運送】

西多摩運送株式会社に加来氏より、同社の「エコ安全ドライブ」への取組について発表して頂きました。同社ではエコドライブへの取組の必要性について社員に示し、社内で組織を整備し環境保全活動の一環としてエコドライブに取り組んでいるとのことです。エコドライブの継続実施のため、自作のビデオやエコドライブマニュアルによる教育、エコドライブ実施結果が優秀なドライバーの表彰など、様々な工夫を行っている様子が紹介されました。また、その結果として、10%以上の燃費向上、事故件数の大幅な減少などの多くの成果が得られたとのことです。会場からは、KYT活動や表彰制度の工夫点について質問がありました。

【あそあそ自然学校】

あそあそ自然学校の定村氏より、同学校のエコドライブへの取組について発表して頂きました。同学校では、子どもと親子を対象とした自然体験活動と環境教育活動を主な活動の柱としており、後者の一環としてエコドライブ普及に取り組んでいるとのことです。主な活動として、エコドライブを体験してもらうエコドライブチャレンジの実施、座学講座であるエコドライブ出前講座の開催、WEB上でエコドライブの有用性を知ってもらうエコドライブシミュレーターの運用などについて、紹介して頂きました。なお、エコドライブチャレンジとエコドライブ出前講座の受講者からは、さらにエコドライブに取り組む意思表示が多く見られ、エコドライブ実施率の上昇が期待されることが判明した、と成果の報告もありました。

【神奈川県】

神奈川県のエコドライブ推進策について、同県の保坂氏より発表して頂きました。神奈川県で行っているエコドライブ推進策として、県庁内のグリーン配送の実施、公用車によるエコドライブ率先実施、及び運送事業者のエコドライブ活動支援が紹介されました。グリーン配送では、現在は運送事業者に対し要請に留めているエコドライブの実施について、今後は段階的に義務化していきたいとのことでした。また、同県が国や業界団体と共に設置したかながわエコドライブ推進協議会が中心となり、運送事業者に対する支援を展開しているとのことでした。最後に、マイカー利用者や一般事業者のエコドライブ実施を促していくという今後の方針について、説明がありました。

【財団法人運輸低公害車普及機構】

財団法人運輸低公害車普及機構における EMS 普及促進事業の概要と成果について、同機構の高田氏より発表して頂きました。EMS 用機器の普及は急速に進んでいるとのこと、これまでの同機構による導入は平成 19 年度現在で累計 52,380 台（暫定）に達したとのことでした。また、貨物自動車を対象にした平成 17 年度の EMS 導入車両の事例では、燃費が平均 7.5%改善したとの報告もありました。さらに、EMS の効果的な活用方法について事業所にアンケートを実施したところ、実際にエコドライブを実践する運転者のみならず、経営者、管理者など全ての関係者が EMS に積極的に関わることが重要、ということが明らかになったとのことでした。今後とも、EMS の普及、成果の公表、活用方法の啓発などをさらに推進していく方針であるとの説明がありました。

【社団法人日本自動車工業会】

社団法人日本自動車工業会のエコドライブの取組について、同会の青木氏より発表して頂きました。同会の主なエコドライブへの取組は、パンフレットの配布やイベントへの参加などによる普及啓発活動と、瞬間・平均燃費計など表示機器、IT を利用した渋滞緩和機器、アイドリングストップ車などの、エコドライブ支援装置の開発・普及の 2 つであるとの説明がありました。特に、平均・瞬間燃費計に加え、エコドライブ実施中に点灯するインジケータなど、今まで以上にドライバーに情報を提供できる表示機器の開発が盛んであるとのことでした。会場からは、エコドライブ継続の方法やアイドリングストップ車の普及に関する質問・要望などが挙げられました。

【交通エコロジー・モビリティ財団】

交通エコロジー・モビリティ財団の松田より、エコドライブ講習の認定とグリーン経営認証制度について報告がありました。エコドライブ講習の認定については、エコドライブ講習の認定をすることに至った経緯、交通エコモ財団の認定基準、受講修了者への終了証の発行、現在までの修了証発行実績等について報告がありました。グリーン経営

認証制度については、基本的な仕組み、今までの認証取得実績、取得事業所へのアンケート結果等について説明がありました。アンケート結果では、燃費の向上の他に、職場モラルや従業員の士気の向上、車両故障件数の減少、交通事故件数の減少等、多くの副次的効果があることが報告されました。